

中学校英語

TOTAL ENGLISH

新たな年間指導計画

参考資料

【2 年生】

令和 2 年度の授業短縮における対応措置として、以下の趣旨で新たな年間指導計画の参考資料をご提示いたします。また、以下に示す重点化の考え方によらず、次年度以降を見通した教育課程を編成することも考えられます。（以下の指導計画に沿って指導を行い、年度末段階で指導できなかった内容を次学年に移すなど） ●表中の色網にて表示しているコーナー・単元については、基本的に新規学習の文法事項はないため、学習の簡略化および自宅学習等への転換などの工夫により、全てを授業で扱わないとすることも視野に入れてご検討ください。（ただし、新出語彙がありますので、巻末や辞書などを活用し、自学自習が必要です。） ・黄色の色網表示のもの： Project 活動の単元です。既習事項を活用して発表をします。 <数単元のものから 1 ないし 2 つを選択して学習> Project 活動は学年の学習段階に沿って 5 単元ありますので、例えば、Chapter 3 Project と Book 2 Project を授業で扱い、その他は自宅学習とするなど、学年で集約的に 1～2 単元の学習とすることが可能です。（表では全ての Project 活動に色網をつけてありますが、1 つは授業にて学習活動を行なってください）その際、話すことの目標において、発表活動に特異である(㉔)、また書くことの(㉕)(㉖)(㉗)については、留意の上進める必要があります。また提示されている英文を確認させる場合は、和訳を持たせる必要があると考えられます。 〔話すことの目標〕 (㉔) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。 (㉕) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。 (㉖) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 (㉗) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。 (㉘) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。 〔書くことの目標〕 (㉔) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。 (㉕) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (㉖) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。 (㉗) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。 (㉘) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。
・緑色の色網表示のもの： Reading 教材で、まとまった内容の文を読む活動の単元です。 <数単元のものから 1 つを選択して学習> 学年で 3 単元ありますので、学習指導要領の目標に応じた活動を行うことを念頭に 1 単元のみ学習とすることが想定できます。（表では全ての Reading に色網をつけてありますが、1 つは授業にて学習活動を行なってください）自学自習で行う場合は、和訳を持たせる必要があると考えられます。 〔読むことの目標〕 (㉔) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。 (㉕) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (㉖) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (㉗) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。 (㉘) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。
・青色の色網表示のもの： 新出語彙を同一ジャンルで学習するための Word Tree のコーナーです。 <自習対応> Word Tree のコーナーでも、新出文型を扱うもの、言語活動を伴った方が効果的であると考えられるものは省いてあります。

月	配当時間	章	課名と内容	主な言語材料		主な目標	主な言語活動	学校の授業以外の場において行うことが考えられる学習
				課	セクション			
4	4	1	Pre-lesson Spring Vacation ミクが、春休みに家族と愛媛に行った体験をスピーチし、生徒たちがそれについて質問する			●1年で学習した基礎事項を復習する ●春休みまたは最近の自分の体験を4～5文程度の文章にまとめる ●それらをクラスの前で発表する	●春休みの体験を生徒同士で尋ね合う ●春休みの体験を4～5文程度の文章にまとめる ●それらをグループで発表する ●友達の発表内容を正しく聞き取る	【pp.6-7】 ・新出単語の意味を調べ、本文の内容を把握する ・Taskについては、登校時授業で行う(1時間)
			1 A Practice at a Sumo Stable アレン先生が、週末に参加した相撲部屋の朝稽古見学ツアーについて語る	過去形 (be 動詞) S+V (be 動詞以外)+C(形容詞)	I was.... / Miku and Hiro were.... Were you...? It looks.... They look like....	●自分が体験したことについて話す ●過去形 (be動詞) やS+V (≠be)+Cの文構造を理解する ●日本の伝統的なスポーツである相撲についての内容を読んで理解する	●過去にしたことについて尋ねたり、答えたりする ●過去の体の状態について尋ねたり、適切に应答したりする ●S+V (≠be)+Cの文を用いて、相手の状態について表現する ●過去形 (be 動詞), S+V (≠be)+C を用い	
			WT 家族、親類 家族や親類を表すことば			●家族や親類関係を表す語彙を習得し、適切に運用する	●第3者の家族紹介を聞き取る ●絵の中から1人になりきって、家族紹介をする	【p. 16】 ・枠内の家族の各単語の意味を調べ確認する。音声視聴し、各単語を復唱する。さらに Step 1, Step 2を行う(1時間)
	1	1	WT 辞書を使ってみよう 辞書の使い方を学ぶ			●英和辞書の基本的な使い方理解する ●辞書を引くことに慣れる	●辞書を引いて単語の意味を調べる ●同音異義語を引き、意味の違いを見つける	
			2 Gestures 国によるジェスチャーの違いに関する本を読んだミクが、アレン先生、ヒロ、ベンとジェスチャーについて話し合う	過去進行形 複文 (接続詞 when) S+V+O (that 節)	I was reading... Were you studying...? When we say..., we.... I think (that)....	●過去進行形や複文(接続詞when, thatを用いた文)を用いて表現したり、尋ねたり、適切に应答することができる ●過去進行形、接続詞when, thatを用いた複文の文構造を理解する ●同じ動作でも国によって意味が異なる場合があるなど、ジェスチャーと文化の多様性を理解する	●過去のある時点に何をしていたか尋ねたり、答えたりする ●暇などきにすることを尋ねたり、应答したりする ●I think (that)...を用いて、スポーツや教科、料理について話し合う ●be動詞の過去形や過去進行形、接続詞when, thatを用いた文を読む／書く	
5	2	2	A どこに何がある？ 人やものの存在を示す表現を学ぶ	There+be 動詞+～	There is/are.... Is/Are there...?	●人や物の存在について There is/are ～. を用いて表現する ●There is/are ～. やその疑問文、またその答えの文構造を理解する	●There is/are ～. を用いて、部屋の中にあるものを交互に言う ●Is/Are there ～? を用いて、どこに何があるか尋ねたり、適切に答えたりする	
			CP 日記を書こう 1日の出来事を日記にまとめる			●ある日の出来事を、1日の流れを意識しながら日記に書く ●日付など日記の書き方の知識を得る	●1日の出来事を時間の流れに沿って書く ●印象に残ったことについて詳細に書き加える ●書いた文を整理して、日記をまとめる	【pp. 28-29】 ・新出単語の意味を調べ確認する。Step 2, Step 3, Final Stepの英文を読んで内容を捉える。状況に応じて音声を活用する。各Stepを参考に英文日記を書く(3時間)
	7	9	3 Flight to the U.K. ヒロが飛行機でロンドンへ向かい、入国カードに記入して入国審査を受ける	未来表現	We will.... Will we...? I won't.... I'm going to.... Are you going to...?	●willやbe going toを用いて、適切に表現したり、応答することができる ●willやbe going toを用いて、今後の予定を読む／書くことができる ●willやbe going toを用いた未来表現の文構造を理解する ●入国カードや入国審査など、海外旅行に関する知識を得る	●国際線の機内放送を聞き取る ●willを用いて、これからしようと思っていることを言ったり、尋ねたり、应答したりする ●be going toを用いて、既に決まっている予定を言ったり、尋ねたり、应答したりする ●入国審査のロールプレイをする ●未来表現を用いた文を読む／書く	
			WT 天気 天候、寒暖に関する表現を知る	天候・寒暖などを表す it		●天気について会話をする ●明日の天気について会話をする ●天気予報を聞いて理解する	●天気や寒暖を表す語を用いて、国内の都市の天気について会話をする ●明日の世界各地の天気について、会話をする	【pp. 44-45】 ・天気を表す各単語と新出単語の意味を調べ確認する。音声視聴し、各単語を復唱する。さらに Step 1. Step 2の英文の意味を捉え、音声を合わせて復唱する。最後にStep 3を行う(2時間)
6	9	2	4 Hiro in the U.K. ロンドンのおばの家に滞在中のヒロが、レストランでの食事や買い物などを体験する	助動詞表現	Could you...? Shall I...? May I...? We must.... We have to.... Do you have to...? I don't have to.... You mustn't....	●助動詞表現を用いて、適切に表現したり、应答したりする ●食事、買い物、旅行などの場面特有の表現を用いて会話をする ●助動詞表現の文構造を理解する ●イギリスの料理やロンドンの地下鉄、アメリカ英語とイギリス英語の違いに関する知識を得る	●Could you ～?やShall I ～?を用いて会話をする ●May I ～?を用いて許可してくれる人を探し、表に記入する ●買い物客と店員の会話を音読し、内容をアレンジしてロールプレイをする ●助動詞表現を用いた文を読む／書く	
			TT 道案内 道案内の表現を知る			●道案内の場面特有の表現を用いて道案内をする	●ある地点までの道順を説明する ●道案内を聞いて道順を理解する	
	10	8	CP 旅行の計画を立てよう 自分が行ってみたい所への旅行計画を立てる			●旅行の計画を立ててスピーチをする ●スピーチの内容について質問をしたり、それに答えたりする	●時期と旅行先、旅行先でしてみたいことや、買いたいもの、食べたいものなどを具体的に書く ●その理由や付け加えたいことを書く ●書いたものをスピーチ用にまとめ、発表する ●発表を聞いて質問したり、应答したりする	【pp. 58-60】 ・新出単語の意味を調べ確認する。Step 1, Step 2で音声を聞き、英文を読み内容を捉える。状況に応じて音声を活用する。各Stepを参考に旅行計画の原稿をまとめる ・Final Step, Plus 1は割愛する(4時間)
			R English for International Communication 世界での英語の使われ方と英語の上達法			●300語程度の説明文を読み、「読むこと」に慣れ親しむ ●本文を読んで内容を正しく理解する ●「国際コミュニケーションのための英語」についての知識や理解を深め、英語学習にいかす	●本文を読んで True or False に答える ●本文の要約文の択一問題に答え、要約文を完成する ●英語の上達方法について話し合う	【pp. 61-64】 ・新出単語の意味を調べ、本文を読んで内容を捉える。不明な部分は本文訳を確認する。(8時間)
10	7	3	5 Career Experience スーパーマーケットへ職業体験に行ったミクは、将来自分がしたいことや就きたい仕事に対する意識を深める	to 不定詞 名詞用法 副詞用法(目的) 形容詞用法	I like to talk.... I went to ... to work.... ...a lot of things to learn.	●to不定詞を用いて、適切に表現したり、相手に尋ねたり、適切に应答することができる ●to不定詞の3用法(名詞、副詞、形容詞)の文構造を理解する ●ミクの日記とお礼の手紙を読んで、ミクが職業体験で経験したことや将来したいと思っていることを理解する	●to不定詞の名詞用法を用いて質問し、結果をクラスの前で報告する ●to不定詞の副詞用法を用いて、「行きたい場所」「そこで何をしたいか」を尋ね合い、結果をグループで報告する ●to不定詞の形容詞用法を用いて、相手の選んだものを尋ねる ●to不定詞を用いた文を読む／書く	
			A こんな気持ちになったわけ 「～(原因)して…」という表現を学ぶ	to 不定詞 副詞用法(原因)	I'm ... to hear....	●「その知らせを聞いて驚いた」のように「～して…」という表現を理解し、運用する	●to不定詞の副詞用法(原因)を用いた文を気持ちを込めて言う ●to不定詞の副詞用法(原因)を用いた文が含まれている会話を聞いて理解する ●to不定詞の副詞用法(原因)を用いた文を書く	
	11	7	6 The 3Rs in Germany and Japan ドイツから来た転校生のエレナを迎え、Reduce, Reuse, Recycleの観点でごみ減量のための取り組みを紹介する	動名詞 S+V+O+O 疑問詞 why	I enjoy learning.... I'll show you some examples. Why...? —Because....	●動名詞やS+V+O+Oの文を用いて、適切に表現したり、相手に尋ねたり、適切に应答する ●疑問詞whyを用いて相手に尋ねたり、becauseを用いて適切に应答する ●動名詞やS+V+O+O、疑問詞whyを用いた疑問文とその答え方について理解する ●環境問題についてのドイツと日本の取り組みを通して、その社会的な意義について理解する	●動名詞を用いて自分の好きなことを言ったり、尋ねたり、应答したりする ●だれが、だれに、何をあげたかを言う ●行きたい場所について聞き、その理由を尋ねたり、应答したりする ●動名詞、S+V+O+O、疑問詞 whyを用いた文を読む／書く	

月	配当 時間	章	課名と内容	主な言語材料		主な目標	主な言語活動	学校の授業以外の場において 行うことが考えられる学習
				課	セクション			
12	2	4	Ⅱ 電話でおしゃべり 電話で取り次ぎを頼む ときの会話をする			●電話での会話の場面特有の表現を用いて会話をす る	●電話をかけて本人／本人以外の人 が出たときの会話をする ●用件を自由に設定して会話をする	
			Ⅲ 将来の夢 自分の将来の夢を考 え、 文章にまとめて発表す る			●将来自分がしたいことや就きたい仕事について書 き、スピーチをする ●スピーチの内容について質問をしたり、それに答え たりする	●自分の将来の夢と、志望理由を書く ●将来の夢に関する11文程度のスピーチ 原稿を書く ●聞き手に伝わるようにスピーチをする ●スピーチについて質問したり、応答し たりする	【pp. 88-91】 ・新出単語の意味を調べ確認する。Step 1, Step 2で音声聞き、英文を読ん で内容を捉える。Step 4, Step 5, Plus 1の英文を読み内容を捉える。状 況に応じて音声を活用する。各Step を参考に将来の夢のスピーチ原稿を まとめる ・Final Step, Plus 1は割愛する (4時間)
			Ⅳ Red Demon and Blue Demon 赤鬼と青鬼の友情をめ ぐる物語			●280語程度の物語を読んで、概要を把握する ●once upon a timeから始まり、one dayやthenなど時間の 経過を表す言葉を正しく読み取る ●登場人物の心情を理解し、感情を込めて音読する ●登場人物へ3～4文程度の手紙を書く	●Taskの空欄に適切な語句を入れて、要 約文を完成する ●登場人物の心情を理解し、感情を込め てラジオドラマ風に音読する ●赤鬼になったつもりで青鬼へ3～4文程 度の手紙を書く	【pp. 92-95】 ・新出単語の意味を調べ、本文を読んで 内容を捉える。不明な部分は本文訳 を確認する。 (8時間)
	8	7	Ⅶ World Heritage Sites ミクとヒロとベンが、世界 遺産についてそれぞれ 調べたことを発表する	形容詞の比較級 と最上級	...higher than... ...the highest... ...more ... than... ...the most...	●形容詞の比較級と最上級を用いて表現したり、相手 に尋ねたり、適切に回答する ●形容詞の比較級と最上級の文構造を理解する ●世界遺産に関する知識・理解を深める	●2つまたは3つ以上のものを比較して、 その結果を言ってみる(古さ、高さなど) ●形容詞の比較級、最上級を用いて、ク イズを出し合う ●形容詞の比較級、最上級を用いた文を 読む／書く	
			Ⅷ Manga, Anime and Movies フランスのマンガ事情に 関するマノンからのメー ルをもとに、アレン先生 とミクたちが、マンガや アニメ、映画について話 し合う	同等比較 (形容詞、副詞) 副詞の比較級と 最上級 複文(接続詞 if, because)	...as ... as... ...faster than... ...better than... ... (the) fastest... ... (the) best... If we..., Because...,	●同等比較、副詞の比較級と最上級、接続詞ifや becauseを用いて表現したり、相手に尋ねたり、適切 に回答する ●同等比較、副詞の比較級と最上級、接続詞ifや becauseを用いた複文の文構造を理解する ●日本のマンガ・アニメ・映画が、日本のみならず世界 に影響を与えている事実から、日本文化への理解を 深める	●身近なことを話題に、同等比較や副詞 の比較級、最上級を用いて会話をする ●2つまたは3つ以上のものの順位を比較 して表現する ●ある場面を設定して、そうなった場合に 何をするか、ifを用いてグループで会話 をする ●同等比較、副詞の比較級と最上級、接 続詞if や because を用いた文を読む／ 書く	
	1	1	Ⅸ 病気・けが 痛みや体調不良を訴え る表現			●病気やけがの症状を表現する ●病気やけがを表す表現を理解する	●病気やけがを表す絵と合う表現を選ぶ ●病気やけがの症状を言う	
			Ⅹ 体調を尋ねる 体調を尋ねる表現			●相手に体調を尋ねたり、適切に回答する ●自分の体調を適切に表現する	●相手に体調を尋ねたり、適切に助言し たりする ●自分の体調を適切に表現し、薬を購入 する	
	2	4	Ⅳ 私宝物 自分が大切にしている ものを、その理由も含め て文章にまとめ、発表す る			●自分の宝物を10文程度の文章にまとめ、Show & Tell をする ● Show & Tell の内容について質問をしたり、それに 答えたりする	●大切なものを紹介する文を書く ●最初の挨拶などから最後のお礼の言葉 などを加えて、10文程度の文章にまとめ る ●紹介するものを見せるタイミングや見せ 方を工夫しながら Show & Tell をする ●内容について質問したり、応答したりする	【pp. 120-123】 ・新出単語の意味を調べ確認する。Step 1, Step 2で音声聞き、英文を読ん で内容を捉える。Step 4, Step 5, Plus 1の英文を読み内容を捉える。状 況に応じて音声を活用する。各Step を参考に自分の宝物のスピーチ原稿 をまとめる ・Final Step, Plus 1は割愛する (4時間)
			Ⅳ Mother Teresa マザー・テレサの生い立 ちと業績に関する伝記			●350語程度の伝記を読んで、概要を把握する ●in timeやone day, then, at the age ofなど時間を表す言 葉をヒントにして話の展開を把握する ●強勢や抑揚に気を付けながら音読する	●Taskの空欄に適切な語句を入れて、本 文の要約文を完成する ●マザー・テレサの生涯の出来事を時系 列に並べる ●強勢や抑揚に気を付けながら音読する	【pp. 124-127】 ・新出単語の意味を調べ、本文を読んで 内容を捉える。不明な部分は本文訳 を確認する。 (8時間)
			Ⅵ 観光パンフレッ トを作ろう 自分の住んでいる町の 魅力を伝える観光パン フレットを作成する			●グループで自分たちが住んでいる町の魅力を伝える 観光パンフレットを作る ●紹介する町の名所や名産品、食文化、行事などに ついて調査し、理解を深める	●マインドマップなどを作成し、取り上げる ものを選び、担当を決める ●担当するものについて調査する ●調査したことを説明する文章の構成を、 例を参考にして書く ●書いたものを持ち寄り、意見交換しな がら案内文を作り、ポスターやパンフレット にまとめる	【pp. 128-131】 ・新出単語の意味を調べ確認する。Step 3, Step 4, Step 5, Plus 1の英文を 読んで内容を捉える。状況に応じて 音声を活用する。 ・他のStepは割愛する (4時間)